

潜在的なパートナー

関連企業リスト

- 造船・海洋産業は広い意味で韓国造船海洋(現代重工業、現代尾浦造船、現代三湖重工業、大宇造船海洋)とサムスン重工業などの造船会社と海運会社(現代商船、SM商船、高麗海運など)で構成されており、多数のエンジンや機材の関連協力会社がある。

企業名	主要品目	ウェブサイト	位置	
韓国造船海洋	現代重工業	海洋プラント、船舶、エンジン、ポンプ、電動機、機械装置、重機	www.hhi.co.kr	蔚山広域市東区方魚津循環道路1000
	現代尾浦造船	船舶	www.hmd.co.kr	蔚山広域市東区方魚津循環道路100
	現代三湖重工業	船舶	www.hshi.co.kr	全南霊岩郡三湖邑テブル口93
	大宇造船海洋	海洋プラント、船舶	www.dsme.co.kr	慶南巨済市コジェデロ3370
サムスン重工業	海洋プラント、船舶	www.shi.samsung.co.kr	京畿道城南市盆唐区パンギョロ227ボンギル23	
韓国海運会社 (現代商船、SM商船など)	船舶、物流			

- 2019年の造船3社の受注実績は下半期の発注急増に後押しされ、受注目標を達成すると予想される。
 - 造船3社の受注目標達成率は現代重工業が20.1%、大宇造船海洋が33.1%、サムスン重工業が41%である。
- 造船3社の受注残高の構成(2019年5月末)
 - LNG43.3%、タンカー23.3%、コンテナ船21.3%(2018年10月水準の残高を維持)
 - 2019年に発注された17万CBM以上のLNG船19隻のうち17隻を韓国造船会社が受注した。(2018年は100%受注)

韓国造船海洋(現代重工業、現代尾浦造船、現代三湖重工業)

- 2019年1月31日に現代重工業が大宇造船海洋を買収する基本合意書を締結し、造船業界の再編が話題となった。
- 世界最大の造船海洋会社であり、2019年8月末現在で造船268隻(現代重工業94隻、現代尾浦造船110隻、現代三湖重工業64隻)と海洋プラント2基(現代重工業)、353.37億ドルの受注残高を確保しており、様々な海洋プラントプロジェクトを行っている。

韓国造船海洋の造船海洋部門累計受注量(5月現在)・受注残

(単位:百万ドル、隻)

企業	新規受注			前年同期		受注残高		前年同期	
	金額	隻		金額	隻	金額(引渡)	隻	金額(引渡)	隻
現代重工業	1,677	8	TK 2/Con 0/ LNG 4	2,494	19	24,099	100	21,180	94
商船	1,044	8		1,913	19	12,878	98	11,148	93
海洋	5	0		-8	0	2,600	2	1,889	1
プラント	7			86		6,599		6,629	
エンジン機械	621			503		2,022		1,514	
現代尾浦造船	727	19	TK 14/Con 5/ LNG 0	871	25	4,148		4,072	109
現代三湖重工業	1,002	10	TK 9/Con 0/ LNG 1	2,782	25	7,085		6,279	67
韓国造船海洋	3,406	37		6,147	69	35,332		31,531	270

資料:ハンファ投資証券リサーチセンター、2019年7月
注:2019年5月現在/前年同期は2018年5月現在

- 現代重工業グループが京畿道城南板橋新都市にグローバルR&Dセンターを建立
 - 京畿道城南板橋新都市のR&Dセンターには約5000人が勤務し、グループの技術コントロールタワーの役割を遂行しながら首都圏に散在している研究職の人材を集め、技術競争力の強化を図る戦略である。

サムスン重工業

- 2年ぶりの海洋プラント受注
 - 2019年上半年までLNG10隻、タンカー・特殊船3隻、海洋プラント1基など計32億ドルの受注を確保している。(6月末現在)そこに7月中に出たLNG船2隻とタンカー船2隻を合わせると計36億ドルであり、年間目標の46%を達成したと推定される。¹²⁾
 - 2019年4月にはインドのReliance MJ FPSOを10億ドルで受注しており、これは2017年以来初の海洋プラント受注である。数年間の学習効果やダウンサイジング、取引先の多様化で肯定的な結果を期待できる。

サムスン重工業の造船海洋部門累計受注量(5月現在)・受注残

(単位:百万ドル、隻)

企業	新規受注			前年同期		受注残高		前年同期	
	金額	隻		金額	隻	金額(引渡)	隻	金額(引渡)	隻
サムスン重工業	2,600	9		2,300	24	19,900	88	17,500	82
商船	1,500	8	TK 0/Con 0/ LNG 8	2,300	24	13,400	84	11,000	77
海洋	1,100	1		0	0	6,500	4	6,500	5

資料:ハンファ投資証券リサーチセンター、2019年7月
注:2019年5月現在/前年同期は2018年5月現在

大宇造船海洋

- 大宇造船海洋は2019年5月までLNG船5隻、VLタンカー6隻など計11隻の船舶受注実績を見せており、これらの受注船種は大宇造船海洋の受注残高を構成する船種と同じ船舶ということから、受注船舶の建造マージンはさらに向上する余地があると思われる。
 - 同一船種の建造が繰り返されるほど造船所のドック(Dock)の効率は向上し、単位期間内の船舶引渡量は増える。
 - 大宇造船海洋はLNG船、VLタンカー、超大型コンテナ船などの3つの船種で構成された受注残高を保有しており、競争企業に比べてドックの効率は比較的高いと思われる。¹³⁾

12) NH投資証券、サムスン重工業(010140.KS)、LNG/海洋プラントのいずれも安定的な受注状況、2019年7月23日

13) ハンファ金融投資、大宇造船海洋(042600)、2019年6月12日(Equity Research)

大宇造船海洋の造船海洋部門累計受注量(5月現在)・受注残

(単位:百万ドル、隻)

企業	新規受注			前年同期		受注残高		前年同期	
	金額	隻		金額	隻	金額 (引渡)	隻	金額 (引渡)	隻
大宇造船海洋	2,490	11		2,790	24	21,660	101	23,640	96
商船	2,490	11	TK 6/Con 0/ LNG 5	2,790	24	16,570	96	17,250	89
海洋	0	0		0	0	5,090	5	6,390	7

資料:ハンファ投資証券リサーチセンター、2019年7月

注:2019年5月現在/前年同期は2018年5月現在

関連協会

企業名	ウェブサイト	主な活動
韓国造船海洋 プラント協会	www.koshipa.or.kr	組合員の親睦を深め、造船業界の協力による市場情報システムの強化や相互利益を増進し、造船産業の育成・発展を通じて船舶の輸出振興や韓国造船産業の拡大を図り、韓国経済の発展に貢献
韓国造船海洋 機材協同組合	www.komea.kr	大型造船所と中/小型造船所の連携を強化し、造船・海洋機材分野における優良企業を発掘して、世界一流の製品を作る企業を増やす
韓国造船工業協同 組合	www.kosic.or.kr	造船工業の健全な発展や組合員の利益増進を図り、協働事業や造船共済事業を展開して自主的な経済活動を後押しし、組合員の経済的地位の向上や韓国経済の均衡ある発展を図る
韓国船主協会	www.shipowners.or.kr	組合員の権益強化、親睦を深めながら韓国外航海運業の経済的・社会的地位の向上や国際的な活動を促進し、健全な発展を図ることを目的として設立
韓国造船海洋 機材研究院	www.komeri.re.kr	産・学・研・官の有機的な協力体制を構築して造船海洋機材や関連部品産業の技術革新に必要な研究開発を行い、造船海洋機材産業の国際競争力向上に資するために設立された財団法人
韓国船級	www.krs.co.kr	船級業務を行う船級団体として、海上で人命や財産の安全を図って造船、海運、海洋に関する技術振興を目的とする非営利法人
韓国マリン エンジニアリング学会	www.kosme.or.kr	造船海洋機材や関連産業に関する学問・技術の向上や普及に貢献し、産・学・研・官・言の情報交流活性化やシンクタンクの役割を果たす
大韓造船学会	www.snak.or.kr	造船海洋工学の発展や応用・普及に貢献し、科学技術の振興に資することを目的として1976年1月31日に設立許可を受けた韓国未来創造科学部所管の社団法人